

## 善徳寺だより 223号



## 何を頼りに生きるか？

旅行へ行くのに一番最初に何をするか？今どきの人は、先ずインターネットを開いて、様々な旅行会社の運賃や宿泊代を調べ、安い料金のツアーを探し当てます。下手をすると、正規の料金を支払うのが馬鹿らしいぐらいの料金だったりします。

これは旅行だけでなく、買い物でも同じことが言えます。情報を知っていると得ることがたくさんあるのです。しかも、このような事が手軽に出来る時代になったのです。

わたしも含めて現代人の生きるための価値判断は、「損か得か？」に尽きるように思います。生活の知恵だといえはその通りなのでしょうが、「損か得か」で測れないものはたくさんあると思うのです。

しかし、近年は測ることが出来ないものでさえ、「損か得か」で測るようになってきたように思います。例えば、「いのち」。「長生きをすると大変だ」、「子どもはお金も手間もかかる」。実際そうかもしれませんが、少し寂しい気がします。

それで、行き着くのは、「自分さえ良ければいい」という「超個人主義」。その弊害が、事件などになって表れているのではないのでしょうか？

「みんなが幸せになるには？」。これは、現代人が忘れた仏教的価値観です。「隣の人が泣いていても、自分が幸せならそれで良いのだろうか？」。私たちの物質的に豊かな社会が崩壊した時、本当に頼りにすべき事が見えてくるように思います。



## 御正忌法座のご案内

寒さ厳しい折柄 ご健勝にてご送日のことと拝察いたします。日頃は大変にお世話になり、まことにありがとうございます。

さて、下記のように御正忌法座を勤修いたします。御正忌とは、1月16日の親鸞聖人のご命日に勤修するご法座、つまり聖人のご法事です。もし、聖人がおられなかったら、煩惱が満ち溢れる私たちが、救われる道はなかったはずです。

新年最初のご法座ですので、ご都合をつけて、お誘い合っどうぞお参りください。

## 記

日時 1月17日(金) 昼席13:30~15:30

夜席19:30~21:30

1月18日(土) 朝席 9:00~12:00

昼席13:30~15:30

講師 中島昭念先生(山口県美祢市 明厳寺)

久しぶりのご縁になります。先生のご法話を聴くと、堂内の雰囲気「あたたかく」、「ありがたく」なるような感じがします。お楽しみにお越しください。なお冷え込みが厳しい頃ですから、ひざ掛け等お持ちください。

## 令和2年もどうぞよろしく申し上げます。

本堂は、御正忌後、8月まで工事に入ります。その間は、行事、葬儀・法事等は庫裏で勤めます。ご協力申し上げます。

 今月のさくらさん

1月で1歳になります。一般的に犬(中型犬)の1歳は、16歳だと言われています。あっという間に、子どもたちの年齢を追い抜いてしまいました。

子どもたちが床でふざけて、もみ合っていると、「私がお姉さんよ！」といわんがばかりの勢いで、その輪に跳びかかり、入り込みます。そして、ズボンやシャツの裾を啜って放しません。止めているのか、さらにその騒ぎを大きくしているのか分かりません。なかなかのお転婆さんだと思います。

また、犬は群れの中で(家族で)順位付けをしますが、上記の様子を見ると、さくらは、子どもたちを下に見ているように思います。いっぺんに三番目の子から長子になった今月のさくらさんです。

良いお年を!



## 報恩講法座勤修

11月28、29日と報恩講法座を勤修いたしました。昼、夜、朝、昼とたくさんの方が、参拝・聴聞くださいました。本当に有難く、うれしく思いました。



ご講師の福間義朝先生のお話に笑い、涙しながらも、阿弥陀如来さまの親心をしかと聴かせていただきました。

二日目朝席後には、仏教婦人会役員の皆様が、お斎を準備くださいました。ますます洗練されてきたように思います。紅葉の裏庭を見ながらの席に、たくさんの方がついてくださいました。



また夜席には、求道会有志のみなさんが、昨年に引き続きロウソクを灯してくださいました。夜席には、あたたかい光の参道を抜けて、30名の方々が参りくださいました。



さらに善徳寺幼稚園の年長組さんが、本堂の襖絵にある「鳳凰」と「孔雀」の絵を報恩講にあわせて描いてくれました。「上手!」だと参拝のみなさんが、褒めておられましたよ。

多くの方々のご協力で、本年も報恩講を盛大に勤めることができました。早くからの準備、運営、ご懇志をありがとうございました。

信仰が見えにくくなっている中で、各ご家庭で勤める「通り報恩講」、「講中の報恩講」をたくさんの方が勤めてくださり有難いことだと思います。ラクで楽しい事がたくさんある世の中ですが、思い通りにならないことがたくさんあるのも、この世の中です。

失って初めて分かる事があります。病気や老い、また、この命はいつ終わるか分かりません。常日頃から、何が本当の事がよく知っておくことが、肝要だと思います。ぜひ、お寺に来て、仏教の教えに慣れ親しんでください。2020年は、ご一緒にお聴聞しましょう。

## 阿弥陀如来さまのお力



「パワースポット」となる言葉をよく聞きます。私たちのご本尊である阿弥陀如来さまのお力は相当なものです。厳密にいうと、力ではなく、「はたらき」といった方が良くかもしれません。

そのはたらきは、「大丈夫だよ」という慈悲のお心です。例え、テストで0点をとって悲しくても、親に怒られたとしても、病気になったとしても、老いて身体が動かなくなったとしても、命終わることがあっても、「大丈夫」だとはたらいてくださいます。しかもそのはたらきは、「無量寿」、「無量光」で私に届きます。「いつでもどこでも」ということです。

「大丈夫」という阿弥陀如来様のはたらきの根拠は、お姿の後ろにある後光に現れています。後光の数は48本で、それは「私を救うために成就された願い」の数なのです。

また、座っておられる仏像が多い中、浄土真宗のご本尊は立っておられます。これは、「すぐに駆け付ける」ことを表します。また、胸の前の右手は「まかせよ」、腰の前の左手は「もれることなくすべての衆生を救う」ということです。さらに、すごいことに、このはたらきには条件がありません。すべての生きとし生けるものに、平等に注がれています。

本堂で、お宅のお仏壇で、阿弥陀如来さまのはたらきを存分に感じて、手をあわせ「南無阿弥陀仏」と頼るべき方のお名前を呼んでください。納得がいかなければ、法座でお話を聴いてください。

### 本からの言葉

言葉とは携帯電話で垂れ流すもの、話すとは思ったままを話すことであって、そうではなく考えたことを話すものだといっても、人は理解できない。人がほんとうに自分が生きるのか死ぬかのクライシスになったときに求めるのは、お金でもモノでもなくて、本当の言葉でしょう。言葉がなければ、人は生きられない。人の話を聞きに行こうとか、哲学の本を読もうとか、そういうことがない。言葉というものが非常に軽視されている。  
池田晶子 大峯頭「君自身に還れ」より

## 年末年始の行事

除夜会 12月31日(火) 20:00~20:30

除夜の鐘 12月31日(火) 23:45~0:45

修正会 1月 1日(水) 9:00~



お参りくださいね!